

冬を飾る音楽・光・花火の祭典



12月7日、リナシティかのやとまちなかパークで「15th 冬華火 with 4th 冬まつり」が開催されました。会場ではステージや飲食ブースなど様々な催しが行われたほか、メインの音楽とレーザーに合わせて上がる迫力満点の花火に大きな歓声が上がるなど、約1万人の来場者で賑わいました。

もっと野球を楽しみ、上手くなるために



12月17日、花岡学園で西部ガス所属の古川朋樹選手による野球教室が開催されました。野球教室では、投げ方やキャッチングの構え方、バッティングなど細かい指導が行われ、子どもたちは少しでも上手くなろうと真剣なまなざしで指導を受けていました。

地元企業を地元の高校生が盛り上げる



12月15日、リナシティかのやで「地元企業プロモーションチャレンジ試写会」が行われました。同プロジェクトは、高校生が約5か月かけ地元企業のPR動画を制作。若者の視点で企業の魅力を伝え、地元への理解と愛着を深める成果を披露しました。

野里運動公園で交流戦



12月20～23日、野里運動公園の完成を記念してサッカー交流大会が開催されました。鹿屋中央高校のほか神村学園や東福岡高校などが参加し、同施設の完成に華を添えました。

ふるさと検定で1級獲得



12月22日、市役所でかのやふるさと検定1級認定証を藤崎能子さんと下京むつ子さんに授与しました。2人は「マスターを目指して来年も頑張りたい」と話していました。

大隅の企業をまず知って



12月17日、串良平和アリーナで「大隅地域合同企業説明会」が行われました。高校生の大隅地域への就職促進のために企業が自社をPR。参加者816人が真剣に話を聞いていました。

かのやはら大使C&Kが地元でライブ



11月29・30日、市文化会館で「鹿屋市制施行20周年記念事業C&K凱旋ライブ」が開催されました。かのやはら大使でもあるC&Kの鹿屋でのライブは7年ぶり。待ちに待った多くのファンが訪れた会場の熱気はすさまじく、かのやはら大使C&Kも参戦したステージは非常に盛り上がりいました。

マルシェイベントを初開催



12月14日、城山公園でマルシェイベント「城山ホリディ」が開催されました。これは地域的魅力的な人、食、商品等が繋がる場を作り中心市街地を活性化させるため初開催したもの。当日は飲食、物販、体験ブースに21店舗が出店し、参加者は穏やかな雰囲気の中思い思いに楽しめました。

80年前に思いを馳せ串良を歩く



12月13日、海軍航空隊串良基地の戦争遺跡を巡る「戦跡ウォーキング」が行われました。これは戦後80年事業の一環で行われたもので、参加した約30人は、鹿屋市平和学習ガイドと一緒に串良平和公園をスタートし、地下壕第一電信室など串良基地に関する戦跡を巡りました。

有機農業の普及拡大へ



12月17日、どつ菜市場会議室で有機農業の理解促進と普及拡大に向けて「かのやはら有機農業セミナー」が開催されました。参加者は熱心に耳を傾けていました。

お菓子で彩るクリスマス



12月14日、カピックセンターで市国際交流協会「お菓子の家づくり」が行われ、約100人が参加。海外のクリスマス文化の紹介も行われ、参加者はクリスマスの雰囲気を楽しめました。

人権について考えて



12月10日、イオンかのやはらショッピングセンターで鹿屋女子高校生や人権擁護委員らが、改めて人権について考えてほしいと人権週間に合わせて街頭啓発活動を行いました。